



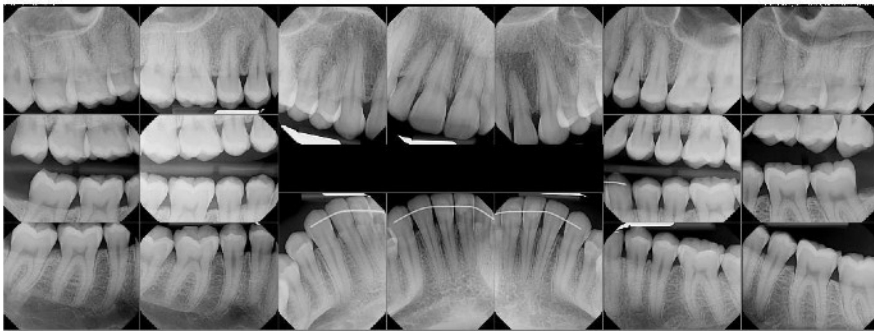
レントゲンを18枚も撮影して 被爆量は大丈夫？

健康への影響は非常に少ないと考えて大丈夫です。

当院で使用しているレントゲン装置は従来のものと比べ線量が1/10以下と非常に少ないのが特徴です。

放射線被曝量について

中でもデンタルエックス線撮影法は最も線量の少ないレントゲン撮影で1回の照射でわずか0.01mSvしか放出されません。



また2007年にアメリカの歯科医師会が行った調査では、このレントゲン方法で18枚撮影した際に実際人体に作用しているエックス線量はわずか0.035mSvであったことも分かりました。

この数字は肺のレントゲン写真を撮るよりもはるかに小さく、東京～ニューヨーク間を飛行機に乗って旅行した際に浴びる自然被曝の1/5の量でしかありません。

そのため、アメリカ歯科医師会では安全に配慮した上で必要なレントゲン検査を行うことを推奨しています。

当院ではこうした科学的な事実に基づき、デンタルエックス線撮影をさせていただいております。

Table 2. Effective Radiation Doses for Dental Radiographic Examinations^{7,8}

Type of Exposure	Effective Dose (Adults) in Millisieverts (mSv)	Effective Dose (Adults) in Microsieverts (μSv)
<i>Full mouth series - 18 images</i>		
With PSP storage or F-speed film and rectangular collimation	0.035 mSv	34.9 μSv
With PSP storage or F-speed film and round collimation	0.171 mSv	170.7 μSv
<i>Bite wing (4 images) with PSP storage or F-speed film and rectangular collimation</i>	0.005 mSv	5.0 μSv
<i>Cone-Beam Computed Tomography</i>		
Dentoalveolar CBCT small and medium field view	0.011-0.674 mSv	11-674 μSv
Maxillofacial CBCT with large field of view	0.030-1.073 mSv	30-1073 μSv

Abbreviations: CBCT: cone-beam computed tomography; PSP: photo-stimulable phosphor

参考文献：Recommendations for Patient Selection and Limiting Radiation Exposure
The Use of Cone-Beam Computed Tomography in Dentistry
Managing Silver and Lead Waste in a Dental Office
Directory of Dental Waste Recyclers

歯周精密治療

歯周病予防プログラム

健康長寿

セルフケア教育

生涯メンテナンス

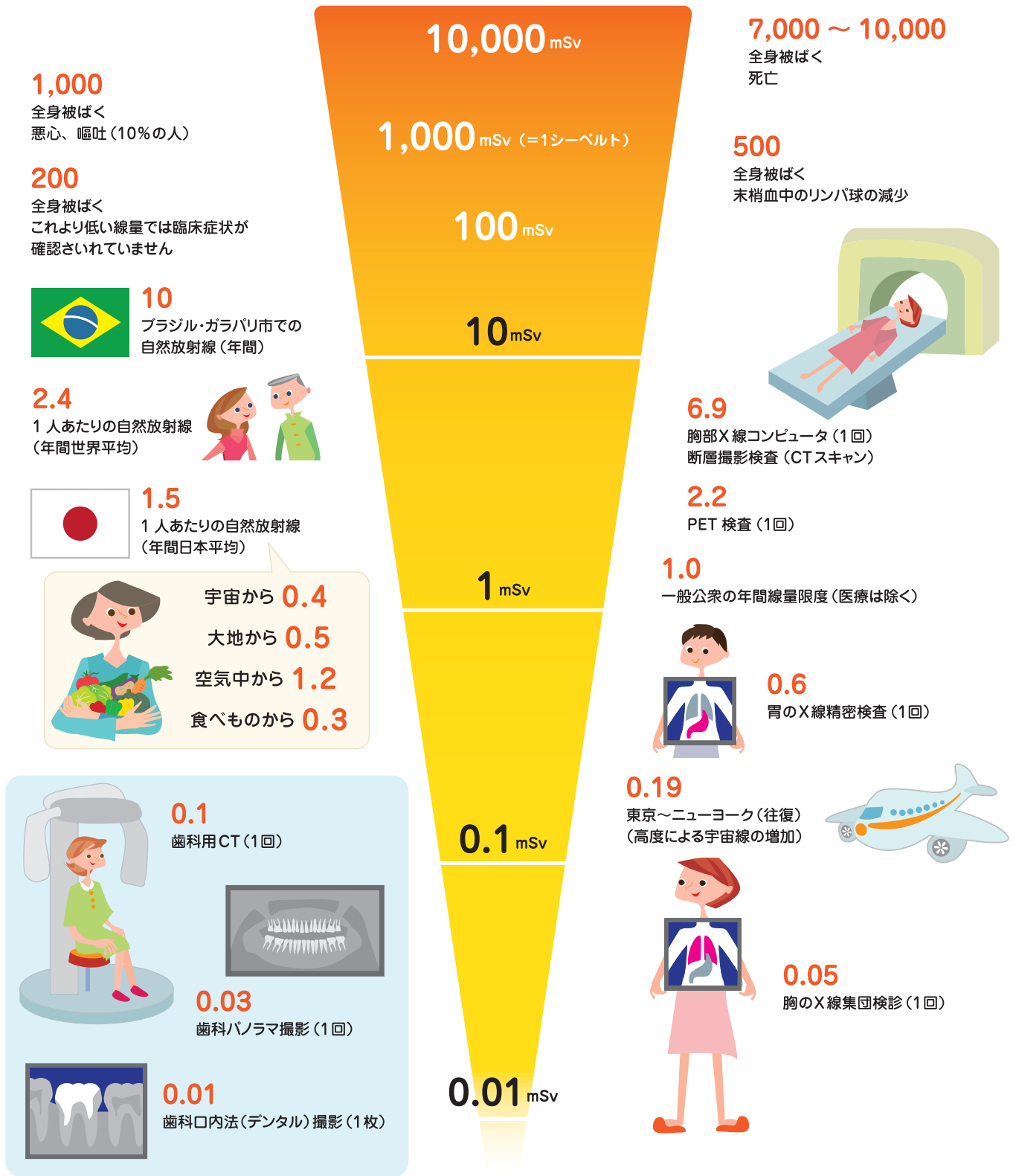


日本歯周病学会 専門医

東京都多摩市馬込沢2-3-29 MAHIKIZAWA f
TEL:042-389-0281 WEB:fukushima-dental.jp



放射線の量 (単位: mSv ミリシーベルト)



飲食物からの放射線(ヨウ素131の場合)

